

鎌倉市市民活動センター在り方検討 ワークショップ報告書

鎌倉市市民防災部地域のつながり課

目次

1	開催目的.....	1
2	開催概要.....	1
3	ワークショップの内容.....	2
	（1）オープニング.....	2
	ア 市からの趣旨説明.....	2
	イ アイスクレイク.....	2
	（2）講師話題提供.....	2
	（3）在り方検討アンケート結果の概要のご報告.....	2
	（4）グループディスカッション.....	3
4	まとめシートを受けての結果概要.....	8
5	配布資料、参考資料.....	9
	【資料1】センターが果たす役割.....	9
	【資料2】講師話題提供資料.....	10
	【資料3】在り方検討アンケート結果概要報告資料.....	20
	【資料4】当日の参加者グループ割り.....	25
	【資料5】グループディスカッション当日の作成資料.....	26
	【資料6】まとめシート（アンケート）の回答内容.....	52

1 開催目的

鎌倉市では、市民活動センターの今後の望ましい在り方を段階的に検証し、機能向上を図るため、市の附属機関である市民活動推進委員会において市民活動センターの在り方の検討を実施しており、この検討の一環として本ワークショップを開催しました。

中間支援組織である市民活動センターが果たす役割としては、令和2年8月に策定した「市民活動と協働を推進するための指針」の中で、会議室の貸し出しや相談業務等の今までの業務に加え、新たな取り組みの担い手のサポートや環境整備、市民参加の促進、新たなつながりを創出するための各種事業の支援、コーディネート、多様なセクターとの連携、ネットワークづくりの推進といった視点に立ち、役割を果たすよう努めることとしています。

この役割を果たすために必要な要素について、市民活動推進委員会での議論のほか、アンケートの実施や、指定管理者との意見交換を実施しましたが、ワークショップでは、そこでは拾いきれない、実際に市民活動をされている方の本質的なニーズや困りごとを把握することが目的です。

2 開催概要

- (1) 日時 令和4年(2022年)12月17日 土曜日 15時00分17時00分まで
- (2) 場所 鎌倉市役所 第三分庁舎 講堂
- (3) 参加者 市民活動推進委員 6人
職員 3人
一般参加 23人
(うち、市民活動団体所属13人、自治会町内会5人、個人5人)
計32人

3 ワークショップの内容

(1) オープニング

ア 市からの趣旨説明

【資料1】(p. 9)により、市が考える市民活動センターの役割を説明しました。本ワークショップでは、活動する上で困ったことや、どんな支援があったら活動しやすくなるか、どんなコーディネートを求めているか、具体的にどんな人に相談に乗ってほしいか、といったことについて、参加者の皆様の率直なご意見をいただきたい旨をお話しました。

イ アイスブレイク

参加者全員がひとことも喋らずに、身振り手振りで誕生日を伝え合い、1月1日から12月31日まで順番になれるように輪をつくりました。




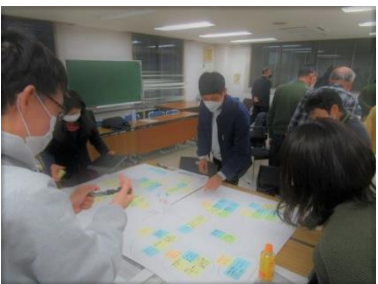

(2) 講師話題提供 【資料2】(p. 10)

講師 手塚 明美 様

特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構 理事長

(3) 在り方検討アンケート結果の概要のご報告【資料3】(p. 20)

(4) グループディスカッション

<p>①意見の書き出し それぞれのテーマについて、自分の思い、意見を付箋にいくつでも書き出します。</p>	
<p>②意見の共有・グループ化 付箋に書き出した意見をグループで発表しながら、似た意見をまとめていきます。</p>	
<p>③講師による簡単な講評 講師の手塚様から、他グループでの意見での特徴や、多かった意見を簡単に共有しました。</p>	
<p>～ここまでの流れをテーマ毎に実施～</p>	
<p>④いいねシール3枚の貼付 ひとり3枚のシールを持ち、他グループの模造紙を見て回り、「いいね」と思った箇所にシールを貼っていきます。</p>	
<p>⑤講師による講評 講師の手塚様から、どのような意見にシールが集まっているか、グループで共通した課題は何か、講評をいただきました。</p>	

ア テーマ1：「センターで活動する上での困りごと」

このテーマで出た意見は、ハード機能に関するものと、ソフト機能に関するものに大きく分かれました。詳細は【資料5】(p.26)のとおりです。

(ア) ハード機能

会議室に関する意見が最も多く、利用する目的のほとんどが会議室であることも伺えます。また、市民活動センターの現在の立地的に入りづらいといった意見や、気軽に立ち寄れる雰囲気がないといった意見がありました。

【ハードに関する主な意見】

- ✚ 会議室が狭い、少ない、暗い
- ✚ 立地が悪い、目立たない、気軽に立ち寄れる雰囲気がない
- ✚ フリースペースが無い
- ✚ ネットワーク環境の不足
- ✚ 活動発表の場の不足

(イ) ソフト機能

次に多かったのは相談機能に関するものや、交流・情報提供といったソフト上の市民活動の支援に関する困りごとでした。

【ソフトに関する主な意見】

- ✚ 支援力不足（問題が解決しない、マッチングできない、コーディネート機能がない、欲しい情報がない、専門性がない、ニーズ把握不足、行政との連絡調整、ICT支援）
- ✚ 専門性のなさ、スタッフが変わる、声をかけづらい
- ✚ 情報発信が足りない

(ウ) その他

その他に、何のための組織か分からない・知名度が低い・PR不足といった意見や、プリンターの使い方が分からない、運営に必要な予算が足りていないといった意見もありました。

(エ) いいねシールのついた意見

3つ

フリースペース 交流の広場 広場／ふらっと立ち寄って誰かと相談する中で、活動のアイデアやヒントをもらえると（良い）と思うけど、目的抜きには立ち寄りにくい

2つ

相談できる内容を知らない／団体の活動発表の場／団体間交流／杓子定規の対応NPOセンターの対応より他の団体の方が繋がれる／ソフト／若い芽を拾う活動の不足／お金（市民活動センターの運営予算の不足）

1つ

会議室が狭い／イメージ／行っても楽しくなさそう／相談しても答えが得られそうもない／対話／ハード／情報発信／ベビーカーで上がれない／建物全体としても広くて落ち着いた空間デザインがない／多様な機能がある部屋が欲しい／土日も夜も会議室が使える（良い点として）／何を相談してよいかわからない／運営に必要な人件費など、予算が足りなさすぎ／市民活動フェスティバルが少し古くさい もう一度再考を／（グループEの模造紙）／所属団体を知らないのでは／業務内容とスタッフ数が釣り合っていない／活動を維持するためのお金の稼ぎ方を教えてほしい／他の団体と気軽に交流できるような横のつながりを作ってほしい／会議室が狭い／駐車場の確保／相談・アドバイス（どのような支援が受けられるか分からない）／市民活動センターって何？

イ テーマ2：「どんな人に相談したい？」コーディネーター像の検討

このテーマでは、「人柄」がこうあってほしいという、相談をする相手に関する意見が最も多く出ました。

次に多くの意見が出たのはコーディネーターに求められる知識・経験・専門性といった能力の部分でした。

(ア) 人柄

コーディネーター像として、話を聞くスキルや人柄が大切だという意見が多く出ました。

【人柄に関する主な意見】

- ✚ 対話できる人、じっくり話を聞いてくれる人
- ✚ 一人の人として扱ってくれる人、親身な人
- ✚ 活動にわくわくしている人
- ✚ 仲間になれそうな人、おだやかな人、愛嬌のある人
- ✚ 精神的余裕のある人
- ✚ ポジティブに背中を押してくれる人
- ✚ 羅針盤的な存在

(イ) 能力（知識・経験・スキル）

現場の経験、行政との連携、ネットワークという意見が多く出ました出ました。

【能力に関する主な意見】

- ✚ 現場を知っている人、組織運営・活動経験が豊富な人、地域に詳しい人
- ✚ 行政に詳しい人
- ✚ ネットワーク・人脈を豊富に持っている人
- ✚ 専門性（経理、法律、企業、ICT、資金調達）

(ウ) その他

その他の意見として、変化を恐れない人、相談後も気にかけてくれる人、おしゃれな若い人といった意見も挙げられました。

(エ) いいねシールのついた意見

3つ

対話できる人／羅針盤的な存在

2つ

マッチング 人脈／相手の話をじっくり聞いてくれる／組織・チームのつくり方が分かっている人／地域の困りごとや、地域で困りごとを解決している人をよく知っている人

1つ

人柄（グループA）／地位など気にせず一人の人として扱える人／変化を恐れない人／ネットワークを持っている人（→相談先を知っている）／現場目線で話ができる人／公共連携のできる人／お金（経理・資金獲得に詳しい人）／人脈豊富／杓子定規の対応をしない（たらい回しにしない）／あまり自分では動きすぎない人／仲間になれそうな人／伴走支援／相談後も気にかけてくれる人／人柄（グループC）／精神的余裕のある人／地域で顔の広い人／財界をまとめてきたような経営キャリア／継続のための人材確保のアドバイスをしてくれる人／企業経験あり専門的な能力のある人／行政にくわしい！／ITスキルの高い人／市とのコネクションを持っている人／他のまちの事例を知っている人／おしゃれな若い人も絶対必要／行政の仕組みを知っている／資金調達のノウハウを持っている人／方向性を示せる方／物の考え方を示せる人／市長 最終的に判断できる方／行政／有識者（学者以外）／NPOに精通している人／常に研鑽を積んでいる人／親身な方

4 まとめシートを受けての結果概要

アンケートの全記載は【資料6】(p.52) のとおりです。

困りごとの解決にどのような支援が必要かという項目では、団体が自ら解決できるような形での支援や、相談者の困りごとの本質を明確にした上での適切な支援、マッチング力など、相談者に寄り添っての支援やコーディネート力の強化が必要であるという意見が見られました。

より質の高い市民活動を行うためにどのような支援が望ましいかという項目では、伴走的な支援や専門性といったソフト的な支援を望むという意見が見られました。また、ハード上の場の支援も必要といった意見もありました。

ワークショップの満足度の平均は 81.1%で、概ね好評と言えるワークショップとなりました。現在市民活動に関わりのある人だけでなく、今はあまり関わりの無い方や個人の方、自治会町内会の方の参加もあり、幅広く意見交換をすることができました。

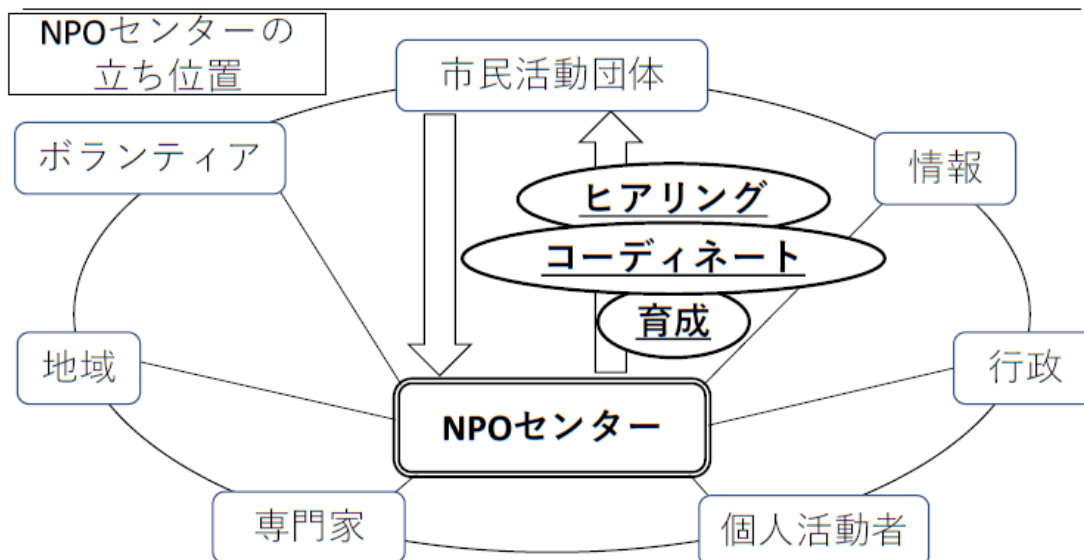
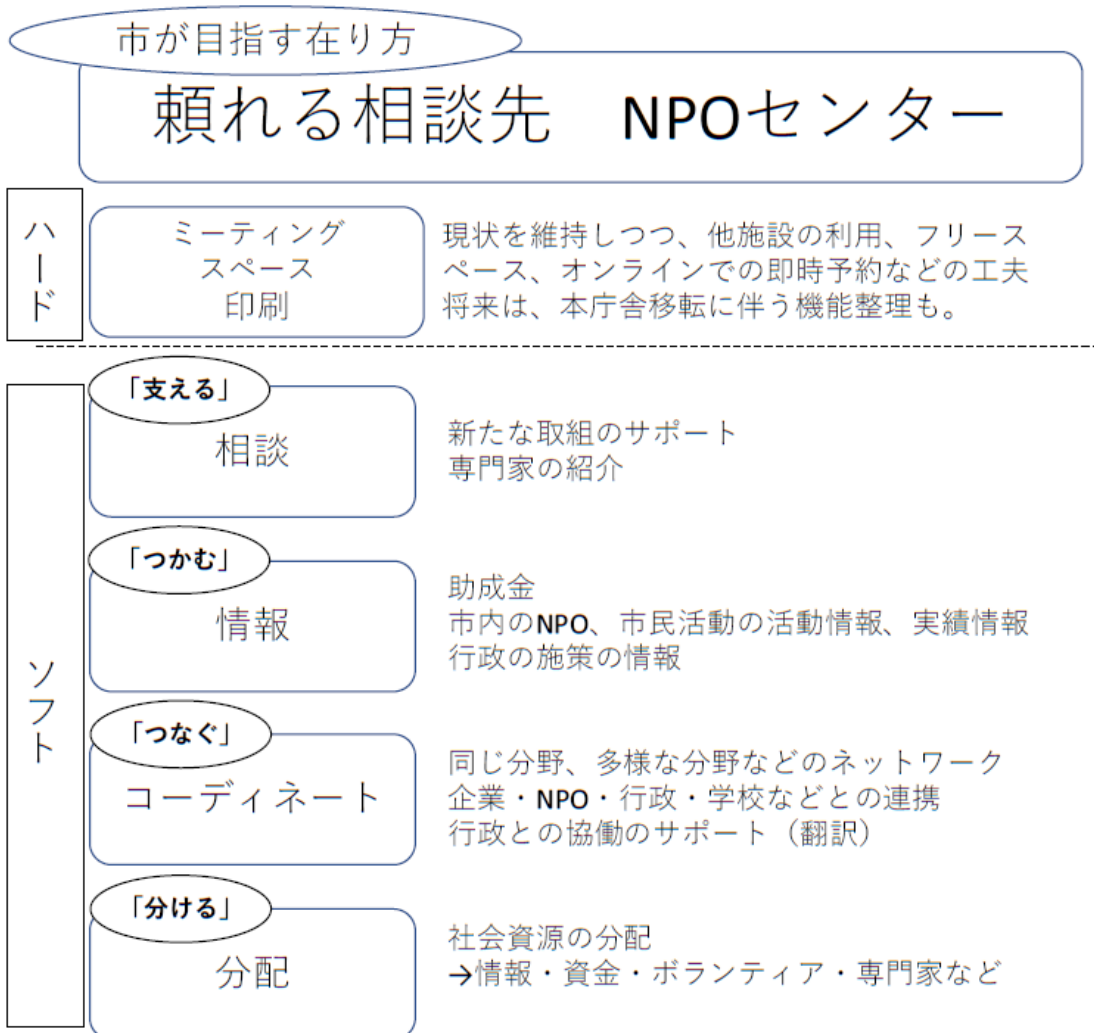
予め定められた設問に答えるというアンケートでの定量的な意見だけでは見えてこない、定性的な意見を集めることができたという点でこのワークショップの開催目的は達成できたと考えられます。

市の「指針」に掲げる中間支援組織の役割として重要とする内容と、これまでの在り方検討の中で重要とされてきたソフト面の支援について、このワークショップにおいても同様に重要であることが伺えました。

一方で、ハード上の課題も切り離せない問題であることから、ソフト支援の充実を図りつつ、ハードの使い方の見直しを図ることも忘れてはならない要素であることが分かりました。

5 配布資料、参考資料

【資料1】センターが果たす役割



【資料2】講師話題提供資料

鎌倉市市民活動センターの役割を考える

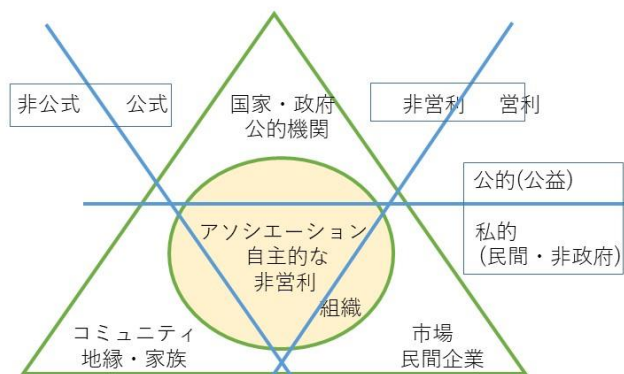
市民活動と協働を推進するための指針によせて

認定NPO法人藤沢市市民活動推進機構
一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ
理事長 手塚 明美

NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

1

ベクター・ペストフ (1992) 「福祉トライアングルモデル」



“The Future of Consumer Cooperatives in Post-Industrial Societies and a Globalized Economy?”(2003)を参考に作成

NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

2

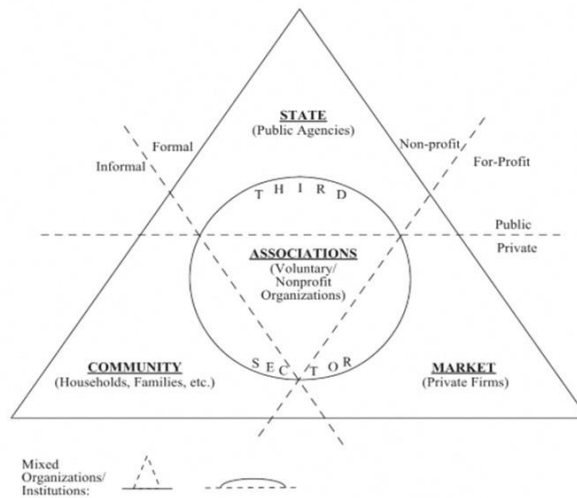


FIGURE 13.1 The third sector and the welfare triangle
 Source: Pestoff (1998). NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

3

基本理念

つながる鎌倉条例より

- 市、市民等、市民活動を行うもの及び中間支援組織は、市民活動が豊かな**地域社会の形成に果たす役割**を認識し、まちをつくる一員としてそれぞれのつながりを大切にし、互いの特性を理解、尊重し、**市民活動の推進に努めるものとする。**
- 市民活動は、自発的な意思に基づいて行われるものとし、その自主性及び自立性が尊重されなければならない。

4

中間支援組織

つながる鎌倉条例より

- 中間支援組織は、基本理念にのっとり、市、市民等及び市民活動を行うものの中に立ち、市民活動の推進のために、市民活動を行うものの**自立や課題解決のための情報及び技術の提供**などを行うとともに、**ネットワークの構築とその推進**を図るよう努めるものとする。

NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

5

中間支援って何ですか

たとえば、問屋

双方の利益をマネジメントする

たとえば、仲人

組み合わせを調整する

たとえば、置屋

力を発揮できるように養成する

NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

6

市民活動支援センターの特徴

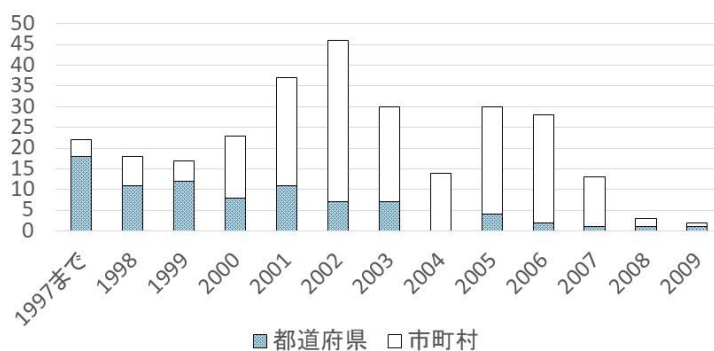
- (個人ではなく) NPOやボランティア団体等の組織支援を主としている
- 常設の拠点を持ち、会議室やミーティングスペース等を貸し出している
- NPO等非営利組織の組織相談に対応できるスタッフがいる
- 活動の分野を限定せずに支援をしている
- 県市町村といった行政が設置し、運営はNPO等民間の組織にゆだねられることが多い

NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

7

支援施設の設立年度推移

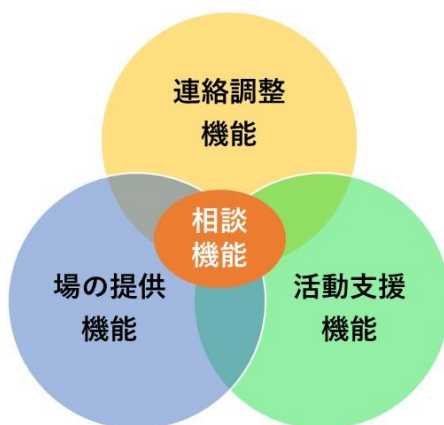
日本NPOセンターによるNPO 支援センター実態調査より



NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

8

中間支援の機能



NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

9

支援センターの形態と機能の特徴

・全国で300箇所以上（神奈川県内では46箇所）

設置形態 ／優位性	ソフト支援	ハード支援	特徴と課題
公設公営	△	◎	事業内容の定番化 職員やスタッフの移動 施策変更による影響
公設民営	○	○	経費のバランス 仕様書と団体のミッション 事業存続と組織存続の連動性
民設民営	◎	△	財源確保・資金確保 組織存続・人材確保 活動の見えにくさ

NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

10

変化の担い手

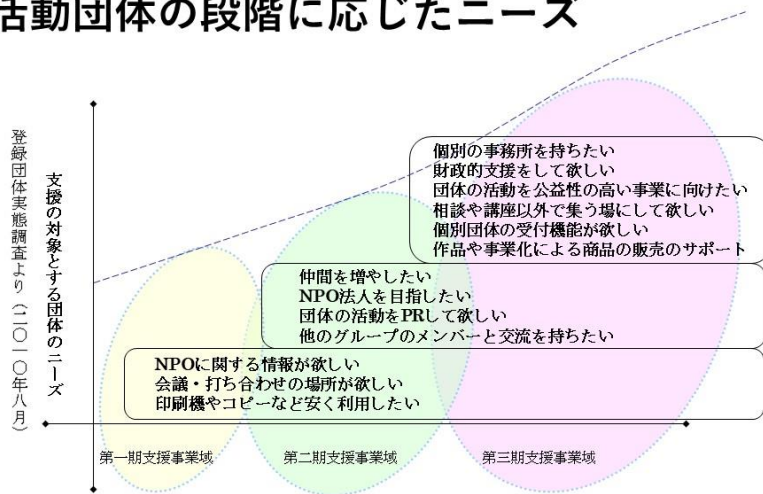
中間支援組織の機能は
チェンジエージェントとしての役割をもつ

佐藤真久氏（東京都市大学環境学部教授）の発言より

NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

11

活動団体の段階に応じたニーズ



NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

12

ニーズの把握と活動に応じた公平感

- ・ 活動段階に応じた事業の展開
 - － 啓発・基礎・実務・専門的・事業向講座
 - ・ テーマ・地域性・会員の属性別交流事業
 - － 活動団体に学ぶ団体交流会
 - ・ コンサルティング機能の充実
 - － 初動期支援・活動相談・専門相談
- ⇒ スタッフによる団体別の支援トレーニング

NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

13

団体を強くするための方策

- ・ 活動の目的が明確であるか
 - 公益性・非営利性・自主性
- ・ 活動内容の適正化が図られているか
 - 活動規模・活動領域
- ・ 技術の向上に意欲はあるか
 - 技術向上講座・運営・経営研修
- ・ 情報公開の意識は向上しているか
 - 連携・協働・助成制度・情報提供

⇒ セルフチェックシステム（17の視点）の開発（2019年）

NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

14

趣旨及び設置

鎌倉市市民活動センター条例より

- 市民の自主的で営利を目的としない社会貢献活動（以下「市民活動」という。）を支援するため、鎌倉市市民活動センター（以下「センター」という。）を設置する

センターの管理に関する業務

- (1) センターの**利用の調整**に関する業務
- (2) 市民活動を行う者に対する**助言、援助及び連絡調整**に関する業務
- (3) 市民活動の**推進及び活性化を図る事業**の実施に関する業務

NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

15

鎌倉市市民活動センターの機能

鎌倉市市民活動センター条例より



NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

16

日本の中間支援あれこれ



NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

17

【三方よし】をコーディネート

売り手よし、
買い手よし、
世間よし

近江商人の理念として
今に伝わっている



NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

18

目的実現のための視点

- 地域の課題や魅力を踏まえ、地域に密着した支援となっているか
- 市民主体の活動や学びを支援しているか
- 事業運営に市民の声が反映されているか
- 地域活動の「新たな担い手の発掘・育成」につながるか
- 地域施設、市役所関係課との連携を意識しているか
- 中間支援組織として、市民活動団体のほか、自治会町内会等の地縁団体、企業・商店街、学校等、様々な主体が連携協働した活動に取り組めるようなコーディネートを意識しているか

横浜市市民活動支援センター事業展開ガイドライン参考

NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

19

わたしたちは何ができるのか

I can make a difference.



今日と違う明日を迎えるために、今、市民には、社会を変え、地球を支える小さな構成員として、大きな働きが期待されています。

そして、今、その動きを支える重要なポジションに大きな期待が寄せられています。

ご清聴ありがとうございました。

20

NPO支援センター在り方ワークショップ話題提供資料

【資料3】在り方検討アンケート結果概要報告資料



アンケートの概要

センターの在り方検討アンケート 概要

■アンケート調査の目的

- 本市では、市民活動団体等が円滑に活動を進めるために、中間支援組織による「ネットワークづくり」や「よりよい成果へ導く」ための「コーディネート機能」の充実により、市民活動の更なる促進に努めることが重要と捉えている。
- そのため、主に市民活動を行っている市民の声をもとに、現状の中間支援組織である市民活動センターの評価や、今後の望ましいあり方を段階的に検証し、機能向上を図るために本アンケートを実施した。

■実施期間

- 令和4年6月27日(月) から 令和4年9月30日(金) まで (約3か月間)

■対象者

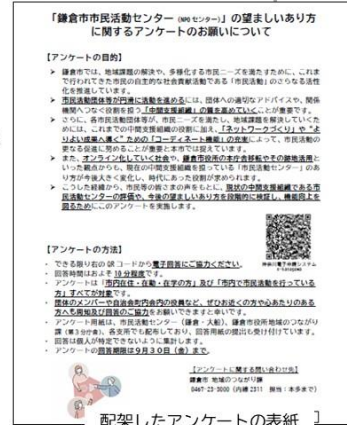
- 「市内在住・在勤・在学の方」/「市内で市民活動を行っている方」全ての「個人」が対象

■実施方法

- e-kanagawaを用いた電子回答
- 紙アンケートを各所へ配架(NPOセンター鎌倉・大船、地域のつながり課、各支所)

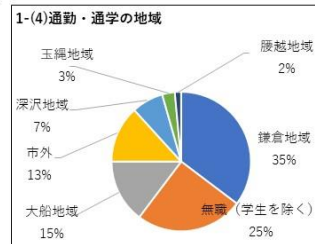
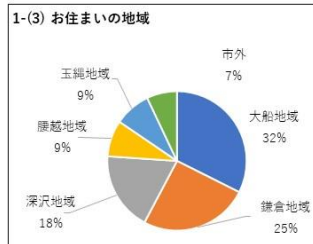
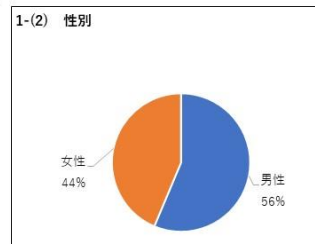
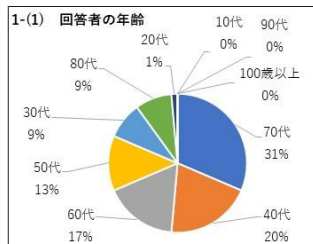
■周知方法

- 鎌倉市民活動センター登録団体(約350団体)へ案内文の送付 及び メールによる周知
- ふれあい懇談会に参加された自治会町内会長へチラシの配布
- 市公式SNS(LINE、Facebook)による周知
- 鎌倉市ホームページ/広報紙



センターの在り方検討アンケート 概要

合計回答数：71件



分析結果のポイント

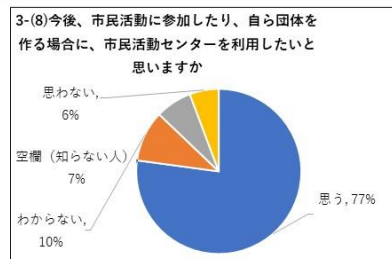
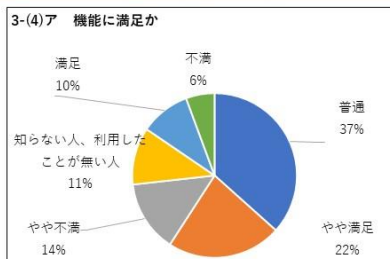
センターの機能に対する満足度は普通からやや低水準だが、
中間支援組織としての需要はある

★分析内容

現在のセンターの機能に対し、“やや満足”以上と回答したのは約3分1にとどまっているが、約8割が今後もセンターを利用し続けたいと回答している。機能の満足度としては普通以下の低水準にとどまりながらも、活動の場としての需要があることが読み取れる。

★推察

市民活動を行っている市民にとって、公的な支援を受けることができる場所は少なく、中間支援組織の存在は当事者にとって重要であることが推察される。センターの機能に対し、最も多い回答は「普通」ではあるものの、“もっとセンターを利用したい”と思ってもらえるような、本質的なニーズや課題を本アンケートやワークショップ等で分析し、本当に望まれている機能を検討する必要がある。



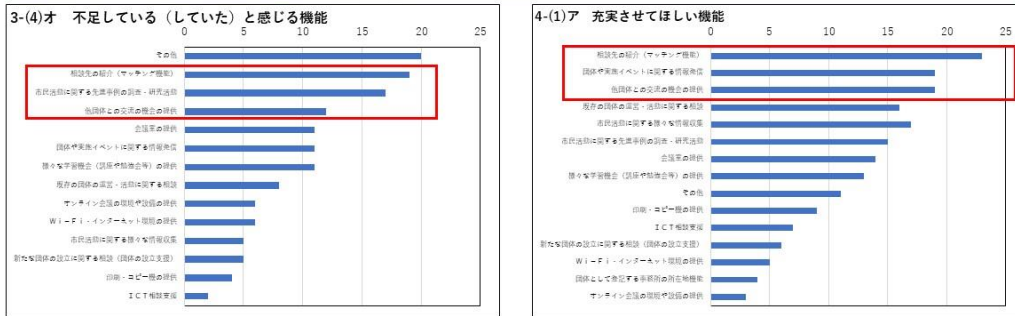
センターの利用者は、相談・交流等、他者の知見や意見を求めている

★分析内容

センターの機能で、“不足している（していた）と感じるもの”の回答では、「相談先の紹介」、「先進事例の調査・研究活動」、「他団体との交流の機会の提供」が上位を占めており、かつ、“今後充実させてほしい機能”の回答でも同様の項目が上位を占めていたことから、センターの利用者は市民活動を行ううえで、他者の知見や経験意見などを求めている傾向がある。

★推察

自由記述では、センターによる具体的なコーディネート機能を求める声もあることから、今後、センターには団体からの相談に応じて、適切な回答をできる人物の配置や、専門機関や経験者などにつなげることができるマッチング機能などの、ソフト面の拡充が重要ではないか。



市民活動団体の“活動の場” そのものは求められている

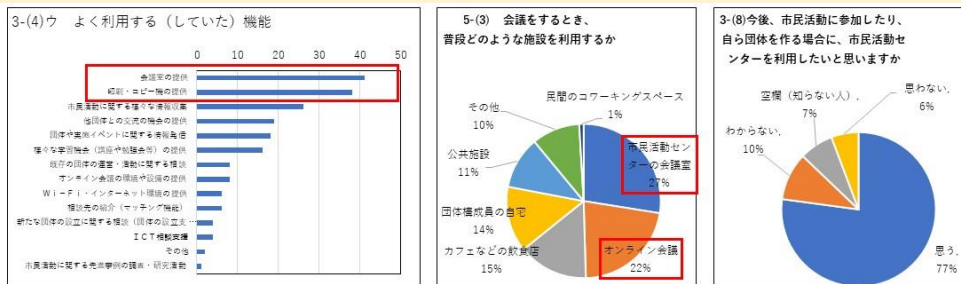
★分析内容

“普段よく利用しているセンターの機能”の回答として「会議室の利用」が最も多く、次に「印刷・コピー機の提供」と挙げられており、実際に団体が活動を行う場としてもセンターが最も多い。コロナ禍によるオンライン会議も活発になってきている現代でも、利用者の「活動の場そのもの」のニーズが読み取れる。

★推察

“今後も市民活動センターを利用したいと思うか”という回答に対し、約80%が肯定的であることに加え、現在使われている機能として最も多いのが「会議室の利用」であることから、今後も活動の場として会議室のニーズは高く推移していくことが想定される。ソフトの充実が求められる一方で、活動の場の提供も軽視はできない。

自由記述でも、会議室だけではなく、拠点としての重要性に触れる回答があることから、実際のニーズに沿った場の提供を行うため、ワークショップ等の意見交換を実施し、市民の具体的な声を聞いて深堀していく。



鎌倉・大船の両センターの統合については、 具体的なイメージが持てない

★分析内容

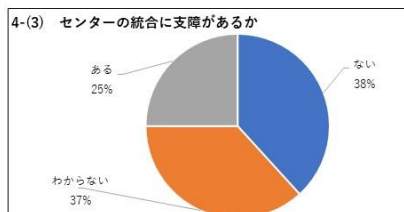
両センターの統合に支障があるかの質問に対しては、「わからない」という回答が多く、統合することによって発生するメリット・デメリットのイメージを持つことが難しいことが読み取れる。

★推察

今回の質問では、「相談窓口を一つに統合した場合に支障があるか」という聞き方をしているが、今回のアンケート結果では、センターの相談機能が不足していることが読みとれることから、そもそも相談機能の統合に関して具体的なイメージがもたれず、わからないという回答が多いのではないかと推察できる。

一方で、センターは自らの活動拠点の近くにほしいという声も自由記述に記載があることから、慎重に検討する必要があるが、なぜ近くに必要なのか、本質的なニーズを今後深堀していく必要がある。（近くにあれば誰だって嬉しい。）

今後、統合を検討する場合には、統合もしくは新設した場合のセンターの具体的な機能の説明とともに、市民のニーズ、課題を確認する必要がある。



【資料4】当日の参加者グループ割り

通し番号	グループ	所属
1	A	市民活動団体
2	A	市民活動団体
3	A	市民活動団体
4	A	市民活動団体
5	A	市民活動団体
6	A	職員
7	A	委員（ファシリテーター）
8	B	個人
9	B	個人
10	B	個人
11	B	個人
12	B	委員（ファシリテーター）
13	C	市民活動団体
14	C	個人
15	C	市民活動団体
16	C	委員（ファシリテーター）
17	D	市民活動団体
18	D	市民活動団体
19	D	市民活動団体
20	D	市民活動団体
21	D	委員（ファシリテーター）
22	E	市民活動団体
23	E	市民活動団体
24	E	職員
25	E	委員（ファシリテーター）
26	F	自治会町内会
27	F	自治会町内会
28	F	自治会町内会
29	F	自治会町内会
30	F	自治会町内会
31	F	職員
32	F	委員（ファシリテーター）

【資料5】グループディスカッション当日の作成資料

当日の記録

※一人3枚の「いいね」シールを配布し、個人が「いいね」と思った他グループの意見にシールを貼付しています。シールが貼付された意見には④～⑥と示しています。

(1) 「センターで活動する上での困りごと」

【グループ：A】

- ハード
 - ✚ プリンター
 - ✚ 用紙
 - ✚ 駐車場
 - ✚ 場所
 - ✚ 施設環境
 - ✚ 窓口の時間
 - ✚ 会議室が狭い ④
 - ✚ 予約は必要？
 - ✚ 時間が合わない
 - ✚ 会議室の予約がアナログ

- 情報
 - ✚ 情報がすぐわからず実践につなぎにくい
 - ✚ 課題解決の速さ
 - ✚ 情報の見せ方
 - ✚ 有益な情報が得られない
 - ✚ ほしい情報がない
 - ✚ Q&Aの例はある？

- イメージ ⑤
 - ✚ ふらっとよりにくい
 - ✚ 話しにくい雰囲気
 - ✚ メール、T e l、面談何でもOK？
 - ✚ 団体に所属していないと利用できないイメージ
 - ✚ 日常的に使う場所という認識がない（会議やイベントのみ）
 - ✚ 行っても楽しくなさそう ⑥
 - ✚ 入りにくさ

✚ 変化とおもしろさ

● 相談（利用方法）

- ✚ 知り合いが使っていないくて様子が分からない
- ✚ 相談のしにくさ
- ✚ 専門家はいるの？
- ✚ 何をしてくれるの？
- ✚ 何をしてくれるのかわからない
- ✚ 相談しても答えが得られそうもない ⑥
- ✚ 利用目的
- ✚ 相談できる内容を自分がわかっていない ③・④
- ✚ 相談が解決しない

● 人

- ✚ 対話 ③
- ✚ 人
- ✚ 運営の顔や人柄、動機が分からない
- ✚ 人柄
- ✚ 運営が市民活動のために、何をやっているのか知らない
- ✚ 会いたい人と出会えない感じ
- ✚ 年齢幅（変化）



【グループ：B】

- ハード ⑥
 - ✚ 夜間・休日に対応してもらいにくい
 - ✚ 会議室の数が少ない
 - ✚ 場所取り
 - ✚ 同じ曜日の同じ時間で場所を取りたいが…

- I T
 - ✚ ネットワーク環境
 - ✚ Webサイト見づらい 使いづらい
 - ✚ SNSが上手くない

- 支援力の弱さ ニーズの把握不足
 - ✚ サイレントマジョリティへのアプローチ不足
 - ✚ 適切な支援先につなぐ力が不足している
 - ✚ 支援する力が不足している
 - ✚ 活動が市や市民が求めているものなのか、すりあわせが分からない
 - ✚ 相談内容を的確に把握してもらえない
 - ✚ マッチング機能がマンパワー頼りになっている？

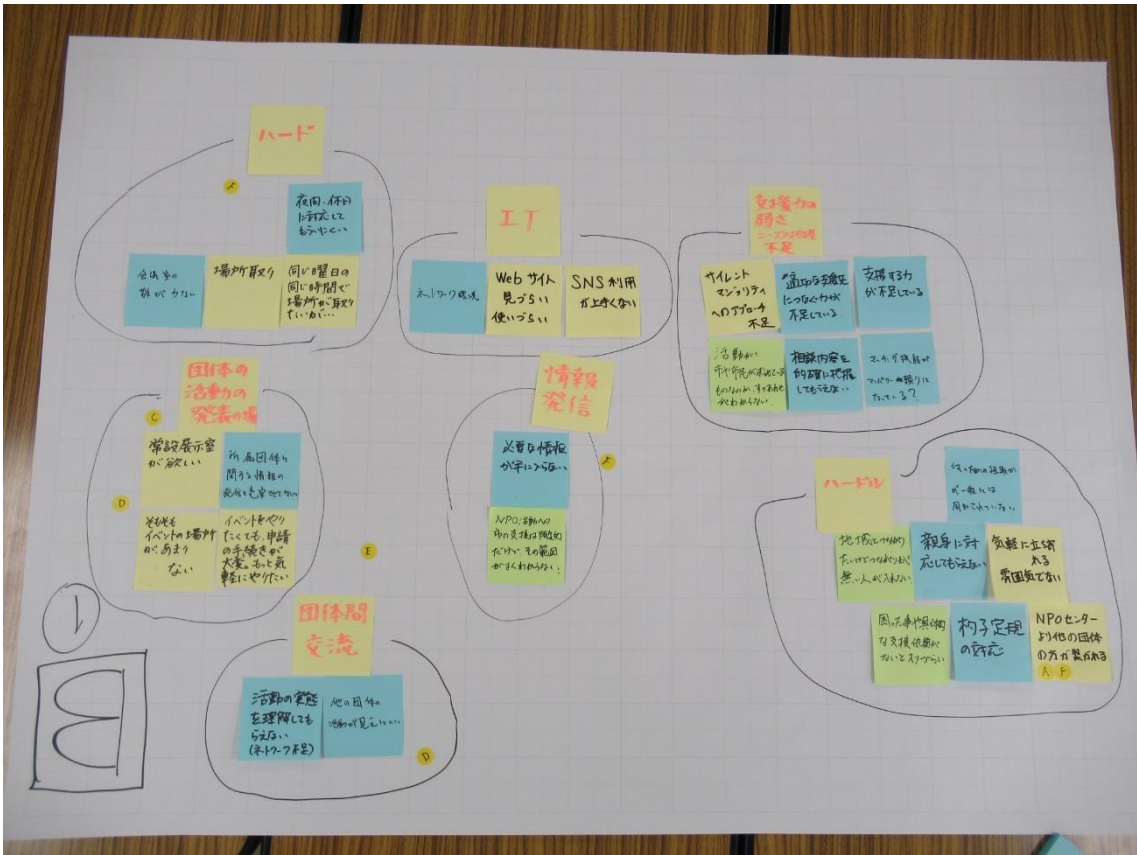
- 団体の活動発表の場 ③・④
 - ✚ 常設展示室が欲しい
 - ✚ 所属団体に関する情報の発信を充実させてほしい
 - ✚ そもそもイベントの場所があまりない
 - ✚ イベントをやりたくても申請の手続きが大変。もっと気軽にやりたい

- 団体間交流 ④・⑤
 - ✚ 活動の実態を理解してもらえない（ネットワーク不足）
 - ✚ 他の団体の活動が見えにくい

- 情報発信 ⑥
 - ✚ 必要な情報が手に入らない
 - ✚ NPO活動への市の支援は限定的だけど、その範囲がよくわからない

● ハードル

- ✚ 何のための組織かが一般的には周知されていない
- ✚ 地域とつながりたいけど、つながりが無い人が入れない
- ✚ 親身に対応してもらえない
- ✚ 気軽に立ち寄れる雰囲気でない
- ✚ 困ったことや具体的な支援依頼がないと入りづらい
- ✚ 杓子定規の対応NPOセンターより他の団体の方が繋がる (A)・(F)



【グループ：C】

● ハード

- ✚ 部屋数が少ない
- ✚ 会議室が少ない
- ✚ ベビーカーで上がれない ⑥
- ✚ 電車の音がうるさい（大船）
- ✚ 建物全体としても広くて落ち着いた空間デザインがない ⑩
- ✚ 多様な機能がある部屋が欲しい ⑩
- ✚ 入口がせまい
- ✚ 目立たない（建物が）市民活動センター登録している人以外知らない
- ✚ ちょっとした打合せの場所がない
- ✚ キッズスペース 授乳室 給湯室
- ✚ 鎌倉は2階の会議室が少しさびしい（暗い）
- ✚ 土日でも夜も会議室が使える ⑩

● ソフト ⑥・⑩

- ✚ NPO法人になる手続きの仕方を教えてもらえなかった
- ✚ 相談・コーディネートなど多様な人材が常時いない ⑩
- ✚ 広報相談担当窓口がほしい 聞き役
- ✚ 助成金の申請の仕方を教えてほしい
- ✚ 何をどこへ相談すべきか分からない
- ✚ 何ができる？
- ✚ 専門の方につないでもらったがよくわからなかった
- ✚ 受付の人がかわる
- ✚ 何を相談してよいかわからない ⑩
- ✚ 若い芽を拾う ①・⑥
- ✚ 会の開催時の具体的担当者が分からなかった
- ✚ 役割の周知がない 広報
- ✚ コーディネート機能

● サービス

- ✚ プリンターの料金表簡略化して張り出してほしい
- ✚ プリンターの使い方ビジュアル化してほしい

● お金 ①・⑩

- ✚ 運営に必要な人件費など、予算が足りなさすぎ ①

【グループ：D】

- フリースペース 交流の広場 広場 ①・②・③
- ✚ 手前の会議室を通らないと奥に行けない
- ✚ 広場が必要
- ✚ 人の通行動線上にあった方が良い
- ✚ 交流できる場がほしい
- ✚ 成果物をプレゼンテーションする場がない
- ✚ 成果物をそのままにできない
- ✚ 他の団体がなにをやっているのか見ることができない
- ✚ 地域に開かれた場であるべき

- 設備
- ✚ 大口のコピーと重なったとき時間のロス
- ✚ リモート会議のためPP#を貸し出してほしい
- ✚ Wi-Fiがうまくつながらなかった

- 駐車場
- ✚ 駐車場のスタンプがもらえない
- ✚ 駐車場が有料
- ✚ 駐輪場使用する場合、時間外のコインを貰うのが面倒くさい

- 会議室
- ✚ 部屋の仕切りが薄く、会議中他の所の会話が気になる→防音
- ✚ 会議室が不足し大船鎌倉を渡り歩いている
- ✚ 会議室の予約が多すぎると言われた 十二所の活動で必要
- ✚ 会議室の数が足りない
- ✚ パーテーションの性能が良くない
- ✚ 他の団体の声が良く聞こえる
- ✚ スペースが狭い
- ✚ 会議室が割と使われていて取れない時がある
- ✚ 会議室2つありますが、音出し（声）に気を遣う
- ✚ 会議室の予約が電話でしかとれない
- ✚ 会議室が希望日にとれなかった
- ✚ 天井が低い 会議室が狭い

- 利用時間、ルール

- ✚ 食事が（お弁当）できない
- ✚ 日曜日にやってない（週2回しか）
- ✚ 毎日曜日開いてほしい（月4回）
- ✚ 活動時間をもう少し長くしてほしい（現状9時から17時まで）

- その他

- ✚ 職員の方と少しお話をしたい！（あいさつを）
いつも忙しそう。PCに向かっている
- ✚ フェスティバルが少し古くさい！ もう一度再考を ㊤



【グループ：E】⑩

- PRもっと
 - ✚ そもそも所属団体をしっていないのでは？ ⑧
 - ✚ 知名度の低さ
 - ✚ インスタグラム運用してない

- もっと会議室が使いやすくなると…
 - ✚ 平日も遅くまで開館している時が欲しい
 - ✚ 会議室利用で当日になって急遽利用できないとセンターから連絡があった。少なくとも前日までに連絡が欲しい。
 - ✚ 会議室利用でもう少し遅くまで使えると良い。

- たいへんそうだよ
 - ✚ 業務内容とスタッフ数が釣り合っていない?! ⑧

- おしえてほしいな
 - ✚ 活動を維持するためのお金の稼ぎ方を教えてほしい ④
 - ✚ (市民団体より) 自治会町内会とつながりたい!
 - ✚ 内容の分かる相談相手がいらないかも?

- あったらいいな
 - ✚ 団体のチラシの配架や引き出しに空きスペースが見つかりにくい
 - ✚ コロナで会食的な食事やお茶がしにくくなった
 - ✚ フリースペースがあったらいい
 - ✚ ふらっと立ち寄って誰かと相談する中で、活動のアイデアやヒントをもらえると(良い)と思うけど、目的抜きには立ち寄りにくい ④・⑧・⑩

- 行政との窓口になってほしい
 - ✚ 連絡調整機能 コーディネート機能の強化 市役所での届出の代行?

- デジタル活用
 - ✚ オンラインでの予約 支払い

- 他の団体と交流したいな
 - ✚ 他の団体と気軽に交流できるような横のつながりを作ってほしい ⑩
 - ✚ 部屋を交代で利用する時、交流できる仕掛けがあると…

- 物理的なスペースの確保
 - ✚ 会議室がせまい
 - ✚ 会議室不要
- その他
 - ✚ 国家資格など 専門的すぎるから



【グループ：F】

- 施設のあり方
 - ✚ 施設が小さい
 - ✚ 1階の作業スペースが狭い（作業が重なると）
 - ✚ コピー依頼ばかりようしていない
 - ✚ 会議室が狭い ①
 - ✚ 2階の会議室（2チームの時に使い勝手が悪い）
 - ✚ 自動販売機が近くにない
 - ✚ オンライン会議など、リモートワークができるスペース
 - ✚ 建物が古い
 - ✚ 古くなると機器が古い 新しいものはなかなか変わらない
 - ✚ 団体利用のときトイレの数が少ない
 - ✚ 平日夜間土日祝は閉まっている

- 駐車場の確保 ①
 - ✚ 専用駐車場がない
 - ✚ 駐車場が悪い
 - ✚ 駐車スペースが無い
 - ✚ 議員の駐車場をNPOへ

- アクセス
 - ✚ 設置場所が交通機関から離れている

- 相談・アドバイス ⑤
 - ✚ 町内のIT化に受けられる支援は？
 - ✚ 団体運営への的確な相談対応
 - ✚ NPO法人など非営利法人の会計・労務などの実務への相談対応
 - ✚ 催し物の企画・立案に協力してもらえる？
 - ✚ 行政に連絡したい時にこの内容はどの部署に訊くのが良いのかのアドバイス
 - ✚ 相談等の申込方法が不明
 - ✚ 相談内容により曜日指定？

- スタッフ
 - ✚ スタッフに声が掛けづらい
 - ✚ 誰が相談にのってくれる？
 - ✚ 相談にのってくれる方は誰？

- 情報提供のあり方
 - ✚ 市の施策などの情報提供
- 市民活動センターって何？ ④
 - ✚ 活動内容が不明
 - ✚ 市民活動センターの内容がわからない
 - ✚ センターは何を一番やりたいの？
 - ✚ どういう活動が支援を受けられるか不明



テーマ2：「どんな人に相談したい？」コーディネーター像の検討

【グループ：A】

● 人柄 ⑥

- ✚ 一緒に面白いことを話せる人
- ✚ 対話できる人 ⑥・⑦・⑧
- ✚ 年齢・性別・経験関係なくフラットに見れる人
- ✚ 上からものを言わない人
- ✚ 小さなことからおおきなことまで聞いてくれる人
- ✚ また話したい、伝えたい、聞きたいと思う人柄
- ✚ （上から目線ではなく）きちんと話を受け止めてくれる人
- ✚ 説教しない人
- ✚ 話す内容を覚えててくれる人
- ✚ 雑談ができる人
- ✚ 思いを汲み取れる人
- ✚ 身近に感じる人
- ✚ 動機が自分本位ではない人
- ✚ 常に何かを考え、関わる人
- ✚ 関わりたい、面白いと思える人
- ✚ 融通の利く方
- ✚ 行動力のある人
- ✚ 地位など気にせず一人の人として扱える人 ⑥
- ✚ 最後まで相談にのってくれる人
- ✚ 団体や人の将来を一緒に考えてくれる人

● 見通し

- ✚ 想像力がある人
- ✚ 変化を恐れない人 ⑦
- ✚ 専門知識だけでなく、目的に向けて議論できる人
- ✚ 全体最適で考えられる人
- ✚ リスクを取れる人

● つながり

- ✚ 他セクターの言語が分かる人
- ✚ 年齢関係なく知り合いの多い人
- ✚ ネットワークを持っている人（→相談先を知っている） ⑧

- ✚ 課題について、人・団体・情報のつなぎ方を一緒に考えてくれる人
- ✚ 色んな人との具体的なつながりがある人
- ✚ 企業と繋げてくれる人

- 経験

- ✚ 外の事例を知っている人
- ✚ 子育てグループに詳しい方の紹介
- ✚ 市内NPOの情報を持っている
- ✚ 現場目線で話ができる人 ⑥
- ✚ 組織を横断して動ける人
- ✚ 他セクターの使い方がわかる人
- ✚ 現場を知っている人

- 公共連携 ⑥

- ✚ 市に話を通してくれる人
- ✚ 市の組織に詳しい方

- お金 ⑥

- ✚ 経理知識のある方
- ✚ お金の取り方を教えてくれる人
- ✚ ファンドレイズに詳しい人

- 書類事務

- ✚ 書類作成を助けてくれる人
- ✚ 緑に関する法規に詳しい方の紹介
- ✚ 契約書に詳しい方



【グループ：B】

- マッチング 人脈 ⑤・⑥
 - ✚ 人脈豊富 ⑥
 - ✚ ある分野のスペシャリストでなくてもよいので、あらゆる分野のスペシャリストを知っている人
 - ✚ 色んな組織をしている人
 - ✚ 適切なマッチングができる方
 - ✚ 適切に対応できる資源（ネットワーク）を携えている
 - ✚ つなぐ人

- 専門
 - ✚ その道のプロフェッショナル
 - ✚ 活動実績がある人
 - ✚ 専門家
 - ✚ 似たような活動をしている人
 - ✚ 自身も活動経験団体運営が豊富
 - ✚ 相談する内容を適切に理解してもらえる
 - ✚ 実現への道筋が的確にイメージできる人
 - ✚ 環境問題に強い人

- ソーシャルワーク
 - ✚ 相手の話をじっくり聞いてくれる ③・④
 - ✚ 人の話を聞くのが上手な人
 - ✚ すぐ結論付けない
 - ✚ 気さくな人
 - ✚ 杓子定規の対応をしない（たらい回しにしない）④

- ソーシャルワーク関連
 - ✚ あまり自分では動きすぎない人 ④
 - ✚ 自分語りをしすぎない人
 - ✚ おしつけがましくない人

- エンパワーメント
 - ✚ 人の魅力を見つけるのがうまい人
 - ✚ わくわくしてる人
 - ✚ 活動にわくわくしてる方

🌈 楽しい人

● 共感力

🌈 友達になれそうな人

🌈 仲間になれそうな人 ①

● 伴走支援 ②

🌈 相談後も気にかけてくれる人 ①

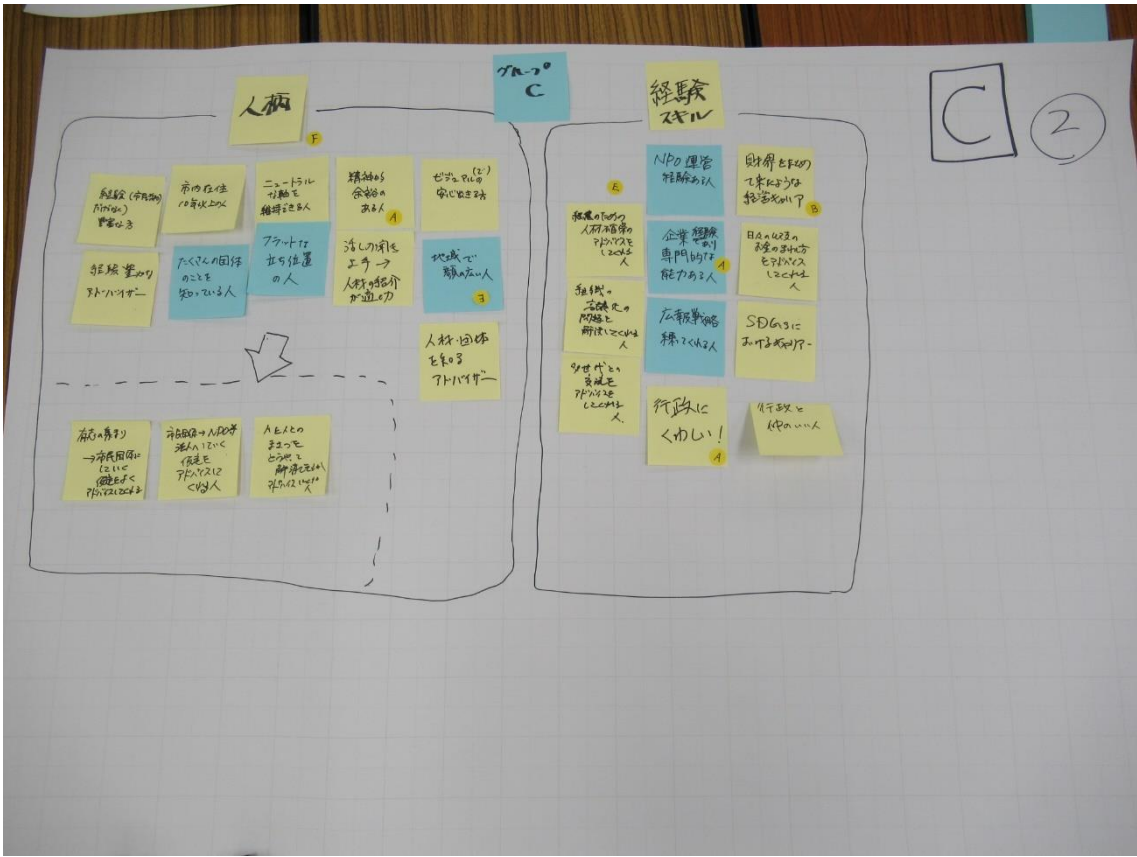


【グループ：C】

- 人柄 ㊦
 - ✚ 経験（市民参加だけでなく）豊富な方
 - ✚ 市内在住 10 年以上の人
 - ✚ ニュートラルな軸を維持できる人
 - ✚ 精神的余裕のある人 ㊦
 - ✚ ビジュアルで安心できる方
 - ✚ 経験豊かなアドバイザー
 - ✚ 沢山の団体のことを知っている人
 - ✚ 話の聞き上手→人材の紹介が適切
 - ✚ 地域で顔の広い人 ㊦
 - ✚ 人材・団体を知るアドバイザー

- 人柄（具体的内容）
 - ✚ 有志の集まり→市民団体にしていく過程をよくアドバイスしてくれる
 - ✚ 市民団体→NPO等法人へしていく過程をアドバイスしてくれる人
 - ✚ 人と人の摩擦をどうやって解消できるかアドバイスしてくれる人

- 経験 スキル
 - ✚ NPO運営経験のある人
 - ✚ 財界をまとめてきたような経営キャリア ㊦
 - ✚ 継続のための人材確保のアドバイスをしてくれる人 ㊦
 - ✚ 企業経験あり専門的な能力のある人 ㊦
 - ✚ 日々の収支のお金の回し方をアドバイスしてくれる人
 - ✚ 組織の高齢化の問題を解決してくれる人
 - ✚ 広報戦略を練ってくれる人
 - ✚ SDGsにおけるキャリア
 - ✚ 多世代との交流をアドバイスしてくれる人
 - ✚ 行政にくわしい！ ㊦
 - ✚ 行政と仲のいい人



【グループ：D】

- 団体情報に詳しい人
 - ✚ 他の団体の情報を持っている人
 - ✚ 市民活動に理解のある人
 - ✚ 他団体の情報を聞きたい

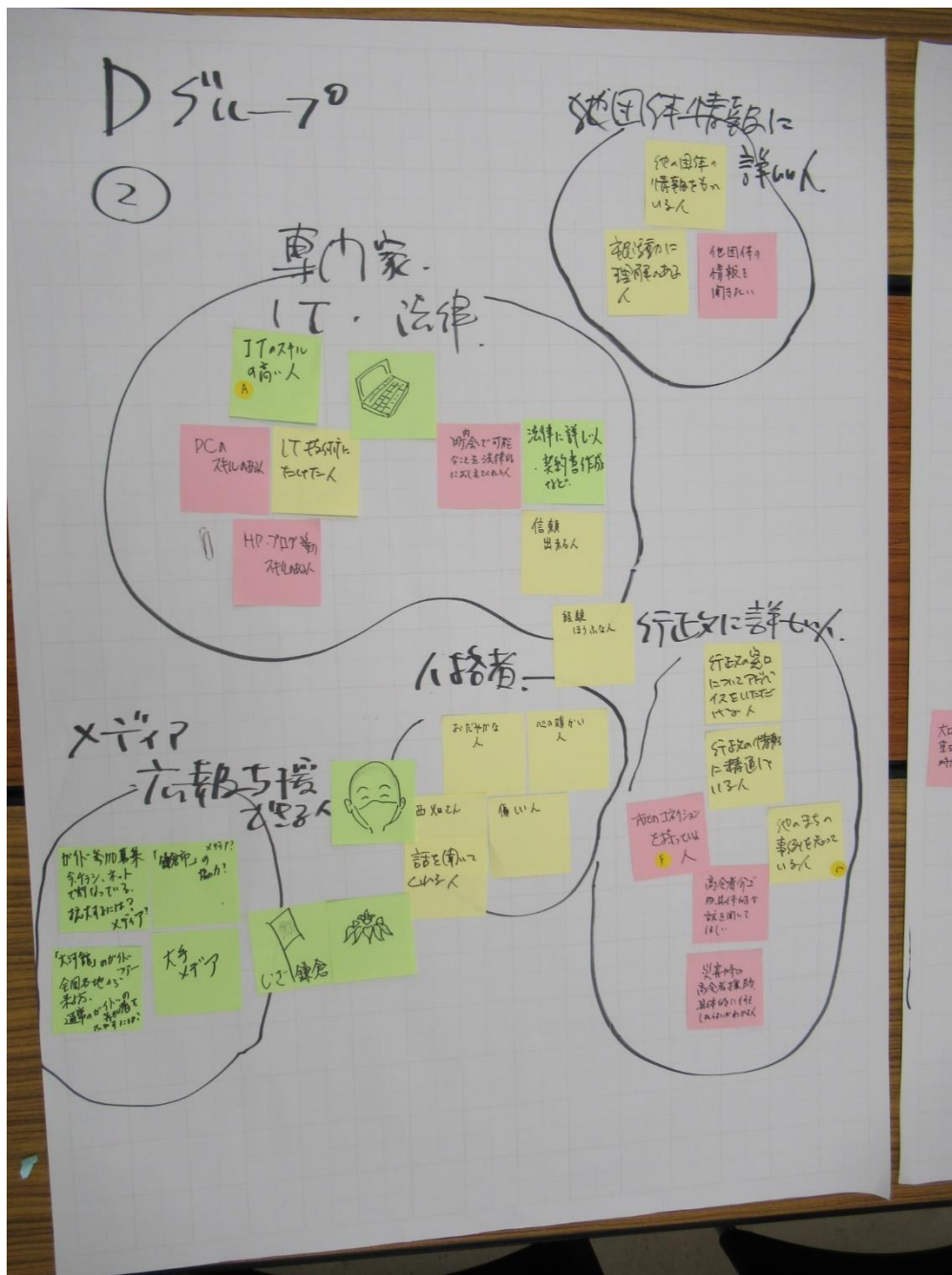
- 専門家・IT・法律
 - ✚ ITスキルの高い人 ④
 - ✚ PCのスキルのある人
 - ✚ IT技術に長けた人
 - ✚ HP・ブログ等のスキルのある人
 - ✚ 町内会で可能なことを法律的に教えてくれる人
 - ✚ 法律に詳しい人 契約書作成など
 - ✚ 信頼できる人
 - ✚ 経験豊富な人

- メディア・広報支援できる人
 - ✚ ガイド参加募集は今チラシ・ネットになっている。拡大するには？メディア？
 - ✚ 鎌倉市の協力？
 - ✚ 大河ドラマ館のガイドツアー 全国各地から来る方 通常のガイドの参加者を増やすには？
 - ✚ 大手メディア

- 人格者
 - ✚ おだやかな人
 - ✚ 心の温かい人
 - ✚ 西畑さん
 - ✚ 優しい人
 - ✚ 話を聞いてくれる人

- 行政に詳しい人
 - ✚ 行政の窓口についてアドバイスしていただける人
 - ✚ 行政の情報に精通している人
 - ✚ 市とのコネクションを持っている人 ⑤
 - ✚ 他のまちの事例を知っている人 ③
 - ✚ 高齢者介護の具体的な話を聞いてほしい

災害時の高齢者援助 具体的に何をしたらよいか分かる人



【グループ：E】

- キャラクター
 - ✚ 愛嬌がある人
 - ✚ ポジティブに背中を押してくれる人
 - ✚ 市民活動に情熱のある人
 - ✚ フレンドリーで雑談のうまい人

- 体制
 - ✚ おしゃれな若い人も絶対必要 ⑥
 - ✚ 一人に聴いてもらうのではなく複数で。 いろんな人、立場の人からの意見をききたい！
 - ✚ 24時間対応可（返信は翌日でも可）メール等で深夜でも返信可

- 知識
 - ✚ 組織・チームの作り方が分かっている人 ⑥・⑦
 - ✚ 行政の仕組みを知っている ③
 - ✚ 市民活動を軌道にのせた経験のある人
 - ✚ 市の施策や担当者に詳しい人

- コミュニカ
 - ✚ 日本語同士の通訳ができる人
 - ✚ コミュニケーション能力の高い人
 - ✚ 無線に興味がある
 - ✚ 共感力のある人
 - ✚ 受け止められる力のある人
 - ✚ まずは一通り話をきいてくれる人

- お金のこと
 - ✚ 資金調達のノウハウを持っている人 ⑥

- ネットワークのこと
 - ✚ 地縁団体とつながっているネットワークがある
 - ✚ 地域の困りごとや、地域で困りごとを解決している人をよく知っている人
⑥・⑦



【グループ：F】

- ✚ 羅針盤的な存在 ①・②・④
- ✚ 最終的に解決できる方
- ✚ 方向性を示せる方 ①
- ✚ 相談することでその事業が実現できる人
- ✚ 物の考え方を示せる人 ⑤

● 市長

- ✚ 市長に要請する
- ✚ 市長
- ✚ 市長 最終的に判断できる方 ④

● 行政 ③

- ✚ 市民生活上の問題を片付ける 課長以上の人達も
- ✚ 副市長
- ✚ 地域のつながり課へ相談

● 地域の仲間

- ✚ 身近に相談できる人
- ✚ 東部地域連合
- ✚ 地域の仲間
- ✚ 同じような境遇を理解できる人

● 専門家（「実践者」と相互に論理を実践）

- ✚ 専門の方
- ✚ 有識者（学者以外） ②
- ✚ NPOに精通している人 ③

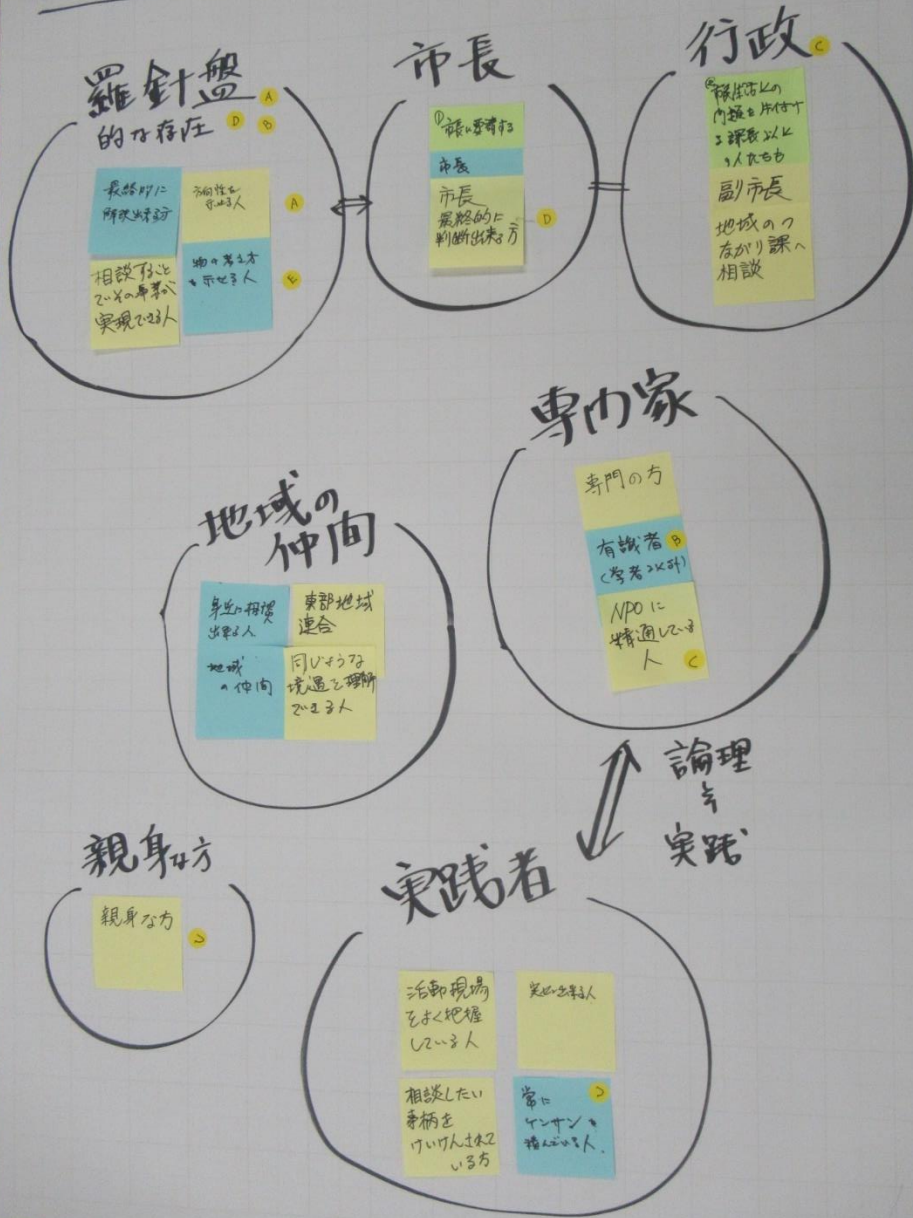
● 実践者（「専門家」と相互に論理を実践）

- ✚ 活動現場をよく把握している人
- ✚ 実践できる人
- ✚ 相談したい事柄を経験されている方
- ✚ 常に研鑽を積んでいる人 ③

● 親身な方

- ✚ 親身な方 ③

グループF テマ2 どの人に相談したい?



【資料6】まとめシート（アンケート）の回答内容

アンケート結果

※末尾（ ）は参加グループ

ア 困りごとの解決には、どのような支援が必要だと思いましたか？

- わかりやすい利用方法（図にしろ、フローにしろ）があると自分が今、どの位置にいて、何が問題で何をすべきか、誰に相談や情報を得るべきか団体・本人がわかるようになる。全てやるのではなく、ヒントだけにし、自主性を伸ばすことが大切。(A)
- 一言では言えない。今日出た意見を分析して、何が必要か、優先順位をつける。(A)
- 気軽に相談できる場が必要。その場ですぐ解決しなくても、人をつないだり、気持ちの整理をすることでもOKだと思った。(A)
- 困りごとの深ぼり、本質的な現状、課題を明確に。(A)
- 知識、共感力。(A)
- まずは、自分だけでやろうとしない事だなと思いました。仲間づくり、つながりづくり。(B)
- 相談者の困りごとの内容を適切に理解する力、共感する感性を持っていること。適切に対応できるスキルやネットワークを持っていること。(B)
- 地域とつながりたいけどつながっていない人と人材が欲しい市民活動団体のマッチング。(B)
- NPOセンターや活動に興味の無い層へのアプローチ力と引き込み力、そしてその方々と団体のマッチング力、そこから自発的な解決が。(B)
- “困りごと”の本質が何なのか、原因がどこにあるのかを、明確にすることが、支援への第一歩だと思います。(B)
- 人柄のよい人がしっかり話を聞き専門の人につなぐこと。(C)
- NPOセンター機能のステップアップ。ハード環境の大巾な改善（例：快適な空間）(C)
- 1. カテゴリーにとらわれない総合窓口担当が必要。2. その方が、カテゴリー毎に各セクションを紹介や分別をする。3. 具体的結果を出すためのサポートセクションを増設。4. 3とのコーディネーターも必要。(C)
- 1. 人柄 2. 専門性が必要で、まずは話を聞いてくれること、そして、その先のアドバイスをしっかりとしてくれる支援が必要だと思いました。(C)
- 聞く力、セクター間の言語の違いを翻訳する力。(D)
- 例題を上げて、Newsに発信してはいかがでしょう。(D)
- 話しやすいフレイキが必要だと思いました！(D)
- 固定された場の設定。(D)
- 専門家が必要。法律が良くわかる人。ITスキルの高い人。(D)

- 現役世代へのサポート→コーディネート機能の強化。スペシャリストもゼネラリストも両方必要。(E)
- 困っていることの見える化。(E)
- 今回のように、困りごとを可視化して向き合うこと。一気に組織改革をしなくても1つずつ変えられることもあると思う。ある程度、NPO、鎌倉について精通した人材の配置と育成。(E)
- 「聴く力」持っていることが最低条件であろう。(E)
- 難しい問題で？(F)
- 内容によるがまず理由を聞き、その内容について他機関や市へ相談させるか判断している。(F)
- 相談・アドバイス、会の運営、行事の企画etcについて依頼したい。(F)
- センターで何が出来るかPRが必要。(F)
- 地域のつながり課と問題を共に考える。(F)
- センター自体がどう活用できるかの周知を。事業を行ないながらできるような仕組みがあると良いのでは…。(F)

イ より質の高い市民活動を行うには、どのような支援が望ましいと思われましたか？

- 「実家」のような、安心できる場と人柄を持つ人。常に平等に考え、対話ができ、一緒に課題解決できるヒントを出せる人。年齢・環境（お金・場所）、性別関係なく自由に利用できる場があると良い。(A)
- 伴走する支援。(A)
- より活動が継続できるように、お金のことや書類管理のことなどの事務的なサポートがあるといいんだと思った。(A)
- なぜ市民活動を行うのか、どこに向かうのかの明確化。(A)
- ネットワーク力。(A)
- ハード・ソフト含め、場所が必要。知恵を出し合う場、知る場、一緒に悩む場、楽しむ場。(B)
- 最初の一步をふみだせるちょっとした交渉やネットワークづくり（敷居を低く）。支援者の対人援助力とネットワーク力（支援する力）。(B)
- 会うとパワーをもらえるような人が相談にのってくれる。(B)
- 他の行政区の活動例や手法の提案。(B)
- 使命感も大事だが、まず“楽しい”と思える活動であること、そして、その雰囲気醸成できるような支援があるといいと思います。(B)
- 専門的なスキル。人と情報をコーディネートする力。(C)
- 経験、専門性などの人材。これを支える予算！（C）
- 市に対して：市民活動の定義の紹介、広報、センターの役割の告知、定期的

な実態調査、支援、センターとの仲のよい連携。センターに対して：市民との交流の場をふやして行ってほしいです。(C)

- それぞれの団体がかかえる問題は様々で、会議室等の物理的問題だけでなく、成立→継続の中で起こるお金、人材、方向性等の問題に寄り添って支援して頂くことが良いと思います。(C)
- セクター間、団体間のコーディネート。(D)
- 先ず、会議室、サロンなど、つどえる物理的な場所の確保が必要。(D)
- 専門職の方が必要だと思いました。IT関係、法律関係、行政に詳しい人、e t c。(D)
- より質の高い市民活動スペースの確保。(D)
- 活動拠点の場所をふやしてほしい。情報交換の場が大事。(D)
- 平日昼間に時間をつくりにくい部分のサポート e t c (E)
- 質の高い市民活動とは何かについて共通認識を持つための支援が必要かと。(E)
- 市民団体が変化、進化に前向きに、あらゆる人とのつながりに対して前向きになれるようなサポート、体制づくり。センター運営の資金が十分にあること。(E)
- 多面的+複眼的視点を絶えず心がけて、一緒につくりあげるというマインドを持つ支援であること。(E)
- 答えが出ない (F)
- 近隣同志との交流があれば。対応する、内容による。(F)
- 個人個人の資質を高めるような支援。(F)
- コミュニケーション、場作りでサポート。(F)
- 今後もレベルUPをする事が必要だと思う。(F)
- 専門人材を雇用できる、もしくは、業務を任せるための資金の支援(中間支援への)。(F)

ウ ワークショップの満足度は100%中、何%ですか？

※アンケート回答者29名。うち、1名未回答者及び職員分を除いた満足度の平均

最高：100.0%

平均：81.1%

最低：40.0%

エ ご感想

- 本日もありがとうございました。100%にしなかったのは、このWSから継続して関わる場かグループがあったら、より具体的・実践的になるなと思ったので、-10%にしました。楽しかったです。(A)
- 意見を出し合う機会は非常に重要。この結果を大事にしたい。(A)
- センター利用が少なかったのも、そもそもこんな利用をしていいんだ！という気づきを得れた。また、何かを活動する時には、事務的な悩みが出てくるんだなって思ったのと、でも多方面に相談できる人がいそうだと会のメンバーをみて思った。(A)
- すぐにできることをすぐに実現してほしいです。小さなことをやり、それを共有し、その声をきいてください。(A)
- 本日集まった皆様(参加者+スタッフ)の想いが次につながり、活動が活発になっていきますように！引き続き宜しくお願いします。ありがとうございました。(A)
- 様々な方々の御意見を伺っている内に思いつく事もあり、色々な化学反応が出て面白かったです。(B)
- 市内には市民活動としてではなくてもゆるいつながりをつくる動きがあることがわかりました。それらを中間支援がすくいとれるともっと活性化すると思いました。(B)
- 比較的若年層は、これから活動していくための支援、玄人層は、活動や地域をよりよくしていくための支援を必要としている事がわかりました。(B)
- 配布の紙量が多いと思います。(B)
- 視点が変わると、物事の見え方も変わるのだと気づかされました。他の方々がセンター・市民活動についてどのようなお考えや期待感を持っていらっしゃるかを知る貴重な経験でした。ありがとうございました。(B)
- 幅広く多様な人がたくさん集まって楽しく意見出しができました。(C)
- 上記をかなえる基礎としては必要十分な予算！(C)
- ありがとうございます。WSは楽しかったです。質問、意見交流が、市ともあったら尚良かったです。この結果の開示、広報活動をつなかり課の方よろしくおねがいします。(C)
- ▲5%はテーブルの繋がりはできましたが他のテーブルとの交流の時間がなかったのももう少し時間があれば良いなと思いました。(C)
- 今回の参加者をセンターのサポーターとなってもらいたい。満足度の▲20%は他グループ間の共有時間。(D)
- 自分事として考えるきっかけになったと思います。進行解りやすかったです。(D)

- 年の暮の、この忙しい時に「何で！」と思いましたが、出席したら、予想外に楽しかったです。本当に有難うございました！唯、今後、この様な企画を考えられる場合はもう少し日程に気を遣ってほしいです。これからも宜しくお願い致します！（D）
- このようなワークショップは良かったと思う。（D）
- 楽しくできました。このような機会を年に何度か設けてほしい。発表もしてほしい。（D）
- とても興味深かったが、時間が足りない。この場で職員さんたちの生の声も聞いてみたかった。（E）
- 言いつばなしにしない方がいいので、参加者にフィードバックして次につなげる工夫をぜひともおねがいします。（E）
- 次は、市とセンターの関係について知りたい。よく使っているが、改めて考えてみる機会になりました。（E）
- 講師のガイダンスが素晴らしく、素直にむきあうことができた。ありがとうございます。（E）
- K J法が良かった。（F）
- 具体的な成果をだすよう頑張っていきたい。（F）
- まとめ方が良かった！！（F）
- 非常に久しぶりのK J法でした。（F）
- 町内会の方々のご意見は、非常に率直な内容でおもしろかったです。（F）

鎌倉市市民活動センター在り方検討

ワークショップ報告書

鎌倉市市民防災部地域のつながり課地域のつながり課

〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10

TEL : 0467-23-3000

FAX : 0467-23-9900

E-mail: npo@city.kamakura.kanagawa.jp